第5学年 総合的な学習の時間 学習指導案

大和郡山市立筒井小学校 教諭　高良 宗彦

1．単元名 「筒井の秘密を伝え合おう」

2．単元の目標

◯筒井順慶について知り、効果的な調査方法で友だちと調べたり、まとめたりすることを通して筒井順慶の魅力を多面的に理解する。（知識・技能）

◯筒井順慶を紹介するにあたって、調べたことをもとに筒井順慶の魅力について考えたり、表現したりする。（思考・判断・表現）

◯筒井順慶を通して，地域に関する関心を高め、さらに筒井順慶についての魅力や発見はないか、意欲的に調べたりまとめたりしながら取り組む。（主体的に取り組む態度）

3．単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に取り組む態度
① ゲストティーチャーの話やフィールドワークを通して、筒井順慶の魅力について調べている。 ② 筒井順慶の魅力を多面的に理解している。	① ゲストティーチャーの話やフィールドワークを通して、筒井順慶について自分で考えたり、選んだりしている。 ② 筒井順慶の良さが相手に伝わるようにまとめ、表現している。	① 筒井順慶に関心をもち，意欲的に調べたり、まとめたりしている。 ② 筒井順慶の良さをみんなにもっと知ってもらいたいという意欲をもって取り組んでいる。

4．単元について

◯教材について

筒井城跡は奈良県の北西部、近鉄橿原線筒井駅より東北一帯にある。おおよそ南北400m、東西 500m あり、平地部に築かれた中世の城としては比較的規模が大きく、筒井の集落を囲む形で筒井城があった。現在の筒井城跡は、宅地、畑地、水田となっているが、内、外堀跡が点在している。その堀に囲まれた城内には筒井氏とその家臣団の屋敷があった。また、筒井城は東西に走る奈良街道と、南北方向の吉野街道が交わる場所にあり、交通の要衝となっており、市場もあったことが確認されている。集落はは、様々な場所で道が折れ曲がり直進できない構造になっている。これらの道や地割は筒井城が築かれた当時の様子をうかがい知る事が出来る。

筒井城の最後の城主である筒井順慶は戦国時代に大和を治めた武将である。宿敵であった松永久秀と何度も筒井城を巡って争いながらも、天正 4 年に織田信長から大和の支配権を認められその後、郡山城に移るまで筒井城を守っていた。教養人として知られる順慶は大和に平和をもたらした名将として後世まで伝えられ、筒井地域に住む人々からは「順慶さん」として親しまれている。

児童にとって筒井城跡は校区内にあり、また順慶祭りが地域の祭りの代表的なものである。詳細は知らずとも「筒井順慶」という名前は知っている状況があるので児童にとっては身近に感じられる教材である。

◯児童について

本学級の児童は、授業に意欲的に取り組むことができる児童が多い反面、低学力傾向の児童も多く、学力差に開きがある。また関心をもって授業に臨んでいるかといるか言えば、そうとも言えず、個別に課題を抱えている児童も少なくない。

学習の始めに、筒井の地域に関するアンケート調査を実施した。「筒井の地域が好きだ」という項目について 90%以上の児童が肯定的な回答をしている反面、「筒井の地域をのことに興味がある」「筒井の地域のことをもっと知りたい」筒井の地域にことを多くの人に知ってほしい」という項目については 40%近い児童が「そう思わない」という回答をしており、その理由として、「田舎で何もない」「特徴的な何かがないから」という記述が見られた。以上の結果から、児童の地域への

愛着や関心は低いと思われる。

〇指導について

本単元は筒井城跡や地域の祭りである順慶祭りを調べ、地域の偉人である、筒井順慶及び関連する事物について掘り下げる。そして、自分たちの住む筒井順慶に関する遺跡や、それらを大切に守ってきた地域の人達の思いに気付かせたい。さらに、筒井順慶の生涯について概要を知った上で、筒井順慶にまつわる言葉である「洞ヶ峠を決め込む」「日和見主義」について取り上げる。一般的には悪いイメージとして使われている言葉の語源となった順慶が、その当時どのような思いで戦国の世を渡っていたのかを調べていく。学習の最後には、自分たちが学んだことを周囲に発信していくといいう構成で進めていく。

筒井城跡や順慶祭りについて調べていくにあたって、地域の人材を活用していく。一つは、筒井城跡の発掘調査を行なっている、大和郡山市都市計画課の方に来ていただき、筒井城跡のフィールドワークを通して筒井地区に残る当時の名残を解説していただく。もう一つは、20 年前に順慶祭りを立ち上げ、現在でも企画・運営を行なっている筒井順慶顕彰会の方に来ていただき、順慶祭りができた経緯や、祭りの概要を説明していただく。祭りをどのように立ち上げたのかについては、地域の方の協力や、地域の偉人である順慶をもっと広く知って欲しいという思いを児童に伝えていただくことで、地域を大切にしている人の思いに気付かせたい。

以上の二つのゲストティーチャーとの出会いから、児童が自分の地域の良さに気付き、地域を誇りに想う気持ちを高めていきたい。

単元の最後には、自分たちが調べたり、実際に見て感じた筒井の良さを、授業参観で保護者に向けて発信していく活動を行う。

5. 主に関連するESDの価値観

〇学習を通して主に養いたいＥＳＤの視点

・地域の方や顕彰会の方が大切にしてきた筒井順慶の魅力や思いを自分たちも発信していきたいという思いを育む。【責任性】

〇学習を通して主に育てたいＥＳＤの資質・能力

⑤協働的問題解決能力：ゲストティーチャーから学んだ筒井の魅力を、他の人達に知ってもらうにはどうすればよいか考える。

〇ＥＳＤで育てたい価値観

世代間の公正：筒井順慶の良さを知り，将来世代の人たちへも伝えていきたい

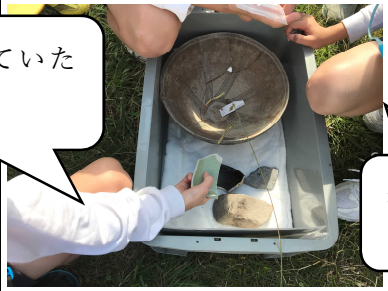
〇貢献できる SDGs

目標 11 ： 地域の財産を調べることにより，地域に誇りと愛着をもつ。

6. 学習活動の概要

全12 時間

主な学習活動	留意点	評価・備考
1.順慶祭り（9 月 8 日）のポスターを通して筒井順慶について知る。	〇順慶祭りをなぜ行なっているのか。筒井の人たちにとって「筒井順慶」がどういう存在なのかを考えさせる。	ウ①
2. 筒井城跡のフィールドワークを行う。	〇内堀，外堀の見学から筒井城が大規模な城であったことをおさえる。	ア① ア②

 壁まで結構遠いし、深さも深いよ  何に使われていたんだろう 表面がザラザラしているね ここが実際の土塁の跡です		
3. 筒井順慶顕彰会の話を聞く。 祭りでは実際に発砲しています 誰かが道具を作って準備しているのかな		ウ② イ①
いて調べる	○「洞ヶ峠を決め込む」「日和見主義」を取り上げ、当時の順慶の思いを想起させる。	イ②
5. 筒井の秘密について調べる。 ・筒井順慶について ・筒井城跡について ・筒井順慶顕彰会について ・順慶祭りについて	○筒井順慶について自分が興味をもったものについて調べる。	
6. 調べたことを発表する。	○相手に伝わるような言葉や方法で伝えられるようにする。	